

【令和3年度に開催した産業振興会議における主な意見等】

分野	内容	対応・回答
産業振興全般	他県の例であるが、地元業者を使うのを条件としている市があり、地元業者を大事にしているという印象を持った。	地域の事業者の皆様と市契約担当課で意見交換を開催してきた。部として担当課と今後も話をしていきたい。
産業振興全般	地域の金はできるだけ地域でまわすのが大事。	市民の方々が知らない店や事業所も多々あると思われるので、そこを皆さんに知ってもらえるような取組をしていきたい。
産業振興全般	市内事業所や団体も「市内のものを買う」、「市内のものを使う」ことが大事だと思う。例えば、会議やイベントなどを他市町村で行う場合もあると思うが、そうではなく「市内の施設・事業所を使う」など市内調達していく必要があると思う。	市の事業など、市が率先して市内の施設を使う形にしていきたい。
商工業	市の特色である大学を活かした取組を行うのであれば、早めに5G基地局を整備したほうが良いのでは。企業誘致において、企業も来やすくなると思われるし、一般市民へのサービス向上にもつながると思う。通信網の整備は大きな強みになると思われる。	通信会社との交渉にはなるが、色々な可能性を秘めた通信網なので、推進していきたいと考えている。
商工業	滝沢中央スマートインターが出来て大変便利だと感じているが、その周辺に企業誘致する施策を考えても良いのでは。	スマートインターの誘致段階では、産業用地の話は出ていたが、農地であること、住宅地が近いこと、交通量のことなど解決しなければならない問題が複数あるため、内部で検討会議を行っているものの、進んでいない状況。
商工業	中小企業の後継者問題が深刻な状況。廃業を考えている市内事業者と事業を拡大したい事業者をマッチングする機会を作り、市内で事業継続できるようにしていく取組が必要になると思う。市と金融機関、各機関が連携して情報集約し、そういった機会を創出できれば。	後継者問題については、農業、商工業など各分野において大きな課題と認識している。各事業者の抱える課題等を知る必要があるため、各機関の皆様から、助言や情報提供をいただければと思う。
商工業	市役所前に中心拠点が出来ていくと思うが、どのような業種が良いとか様々な議論をしながら産業振興に結び付けていくというのが必要ではないかと思う。市民が市内で物を買う、就職するといった好循環につながるようになってほしい。競合するような場所が市近郊にも複数か所あり、イオンも近くにある。他の場所にはない特徴のあるものを作る必要があると思う。	開発にあたってどういうものが欲しいかなど、市民の皆様に対してアンケートを実施して、意見を広く伺った経緯がある。そのイメージに沿って、エリア分けされた計画が組まれており、望ましくない業種は条例で規制し、入ることができないようにしている。入ることが可能な市内事業者で、ここで事業を行いたい方がいれば支援したい。

分野	内容	対応・回答
農林業	農家の後継者に関連して、以前は使われていた農地でも、現在は荒れ放題という所が多々見られる。後継者がおらず、そのままになっていることも多い模様。そういう土地を法人で受けて管理するという方法もあると思う。	法人も含めた個々の農業者に対し、農業委員会が農地のマッチングを行っているが、受け手を探すことに加え、耕作できる状態に誰がするかという基盤整備も課題となっている状況。資金もかかる話であるため、農林課、農業委員会が中心となり、農地活用について検討していく。
農林業	農地集積について、どの程度、集積が進んでいるか教えてもらいたい。	2016年の農地集積率は41.68%で、その後の集積率は伸び続け、2020年には45.87%になっている。
観光物産	ふるさと納税において、産直の連携も必要になってくると思われる。	ビッグライフ滝沢内「たきざわキッチン」の滝沢市産の商品を納税の返礼品にするなど、連携を図っている状況。市内には産直が複数あるので、連携して対応していきたい。
観光物産	シルバー人材センターに関して、仕事がないため会員を辞めざるをえない状況があるようだ。加入年齢が65歳に上がったことも会員減少の理由だと思うが、仕事がないため、加入が進んでいないと思われる。市の財政の問題もあると思うが、シルバー人材センターを支援する立場として、仕事を依頼してほしいところである。	シルバー人材センターを支援することは、高齢者雇用の拡大となるため、元気な高齢者の方々の支援につながると考えているし、直接的な随意契約が可能であると国でも認めているので、それを踏まえながら今後の支援を進めていきたい。